

# BPCNP/PPP4学会合同年会 ランチセミナー3



日時

2022年11月4日(金)  
12:00▶13:00

会場

第3会場

都市センターホテル 6F 601

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-4-1



本セミナーはWEBによるライブ配信でもご視聴いただけます。詳細は合同年会ホームページよりご確認ください。  
<http://bpcnpppp2022.umin.jp/>

# ストレス社会と脳内炎症

※イフェクサーSRの効能・効果は「うつ病・うつ状態」です

座長

医療法人尚生会湊川病院 精神科/神戸大学 客員教授

白川 治 先生

演者

鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野 教授

岩田 正明 先生

●本セミナーは整理券制ではございません。

ご参加の皆様には、お弁当をご用意しております。(数に限りがあります)

共催：BPCNP/PPP4学会合同年会/  
ヴィアトリス製薬株式会社/住友ファーマ株式会社

# ストレス社会と脳内炎症

## 岩田 正明 先生

鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野 教授

文明の急速な進歩により社会の利便性は格段に高まり、私たちは豊かな日々を送ることができるようになった一方、それが健やかな生活かと問われると必ずしもそうとは言えないのではないか。第三次産業が主流となった日本においては、対人ストレスは非常に大きな負担として私たちにのしかかる。これらのストレスは神経に強い負荷を与え、ひいては神経にダメージを与えることが明らかになってきている。強度で持続性のストレスはうつ病を誘発する。うつ病は異種性の高い疾患である可能性が示唆されており、モノアミン仮説のほか、近年では神経可塑性仮説も提唱されている。その病態の一つに、「炎症を介した神経可塑的な変化」が想定される。うつ病発症の誘発因子の一つであるストレスは脳内で「炎症」を引き起こし、神経可塑性へと繋がっていく。私たちはこのストレス社会においてどのように生きていけばいいのか。また、脳内炎症をどう防いでいくのか、自身の研究も踏まえながら、生物学的な視点から考察してみる。